

## 中学校 国語

### 解答についての注意点

- 1 解答用紙は、マーク式解答用紙と記述式解答用紙の2種類があります。
- 2 大問 **1** ～大問 **3** については、マーク式解答用紙に、大問 **4**、**5** については、記述式解答用紙に記入してください。
- 3 解答用紙が配付されたら、まずマーク式解答用紙に受験番号等を記入し、受験番号に対応する数字を、鉛筆で黒くぬりつぶしてください。  
記述式解答用紙は、全ての用紙の上部に受験番号のみを記入してください。
- 4 大問 **1** ～大問 **3** の解答は、選択肢のうちから、問題で指示された解答番号の欄にある数字のうち一つを黒くぬりつぶしてください。  
例えば、「解答番号は  」と表示のある問題に対して、「**3**」と解答する場合は、解答番号  の欄に並んでいる ① ② ③ ④ ⑤ の中の ③ を黒くぬりつぶしてください。
- 5 間違っただけでぬりつぶしたときは、消しゴムできれいに消してください。二つ以上ぬりつぶされている場合は、その解答は無効となります。
- 6 その他、係員が注意したことをよく守ってください。

指示があるまで中をあけてはいけません。



次の(1)～(5)の問いに答えよ。

(1)

次の各文のうち、「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について(答申)」(平成28年12月21日中央教育審議会)のうち、第2部「第2章 各教科・科目等の内容の見直し」で述べられている、国語に関する記述(「課題を踏まえた国語科の目標の在り方」)の内容を述べたものとして正しいものはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は

1

- 1 国語科において育成を目指す資質・能力については、「問題解決能力」、「創造力」、「学びに向かう力・人間性等」の三つの柱に沿っている。
- 2 「知識・技能」の「言葉の働きや役割に関する理解」は、自分が用いる言葉に対するメタ認知に関わることであり、言語能力を向上させる上で重要な要素である。このことは、これまでの学習指導要領においても扱われており、実際の指導の場面においても十分なさされてきた。
- 3 これからの子供たちには、創造的・論理的思考を高めるために、「思考力・判断力・表現力等」の「情報を多面的・多角的に精査し構造化する力」がこれまで以上に必要とされるとともに、自分の感情をコントロールすることにつながる「感情や想像を言葉にする力」や、他者との協働につながる「言葉を通じて伝え合う力」など、三つの側面の力がバランスよく育成されることが必要である。
- 4 より深く、理解したり表現したりするためには、「情報を編集・操作する力」、「新しい情報を、既に持っている知識や経験、感情に統合し構造化する力」、「新しい問いや仮説を立てるなど、既に持っている考えの構造を転換する力」などの「グローバル化する国際社会で主体的に生きる力」を育成することが重要である。
- 5 小・中学校においては、文字の由来や文字文化に対する理解を深めることについて、高等学校においては、国際交流に生かすことや多様な文字文化に対する理解を深めることについて、高等学校芸術科(美術)との円滑な接続を図る必要がある。

(2) 次の表は「中学校学習指導要領」（平成29年3月告示）の「国語」の「第2 各学年の目標及び内容」に示されている、指導段階の内容の一部である。――部A～Dの語句について、正しいものを○、誤っているものを×としたとき、正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は 2

〔思考力、判断力、表現力等〕			〔知識及び技能〕
<p>C 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p>	<p>B 書くこと (1) 書くことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p>	<p>A 話すこと・聞くこと (1) 話すこと・聞くことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p>	<p>(2) 話や文章に含まれている情報の扱い方に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p>
<p>【第1学年】オ 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにする。こと。</p> <p>【第2学年】オ 文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、<sup>D</sup>自分の考えを広げたりまとめたりすること。</p> <p>【第3学年】エ 文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつこと。</p>	<p>【第1学年】オ 根拠の明確さなどについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだすこと。</p> <p>【第2学年】オ 表現の工夫とその効果などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだすこと。</p> <p>【第3学年】オ <sup>C</sup>論理の展開などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだすこと。</p>	<p>【第1学年】ア 目的や場面に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討すること。</p> <p>【第2学年】ア 目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、異なる立場や考えを想定しながら集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討すること。</p> <p>【第3学年】ア 目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、多様な考えを想定しながら材料を整理し、伝え合う内容を検討すること。</p>	<p>【第1学年】イ 比較や分類、関係付けなどの情報の<sup>A</sup>調査の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使うこと。</p> <p>【第2学年】イ 情報と情報との関係の様々な表し方を理解し使うこと。</p> <p>【第3学年】イ 情報の信頼性の確かめ方を理解し使うこと。</p>

5	4	3	2	1
A	A	A	A	A
○	×	×	×	○
B	B	B	B	B
×	○	×	○	○
C	C	C	C	C
×	○	×	○	×
D	D	D	D	D
○	×	×	○	×

(3) 次の表は「高等学校学習指導要領」(平成30年3月告示)の「第2章 各学科に共通する各教科 第1節 国語 第2款 各科目」について、「3 内容の取扱い」に示されている各領域の単位時間数を一覧表にしたものである。空欄①～⑤に当てはまる科目として正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

	A 話すこと・聞くこと	B 書くこと	C 読むこと
①	/	30～40単位時間程度	100～110単位時間程度
②	/	5～10単位時間程度	40～45単位時間程度 / 20単位時間程度
③	20～30単位時間程度	30～40単位時間程度	10～20単位時間程度
④	40～50単位時間程度	90～100単位時間程度	/
⑤	/	50～60単位時間程度	80～90単位時間程度

- |   |        |        |         |        |        |
|---|--------|--------|---------|--------|--------|
| 5 | ① 論理国語 |        |         |        |        |
| 4 | ① 論理国語 | ② 言語文化 | ③ 現代の国語 | ④ 国語表現 | ⑤ 文学国語 |
| 3 | ① 文学国語 | ② 古典探究 | ③ 現代の国語 | ④ 国語表現 | ⑤ 論理国語 |
| 2 | ① 文学国語 | ② 古典探究 | ③ 現代の国語 | ④ 国語表現 | ⑤ 論理国語 |
| 1 | ① 文学国語 | ② 古典探究 | ③ 言語文化  | ④ 国語表現 | ⑤ 論理国語 |

- (4) 次の文章は、平成29年3月に告示された「中学校学習指導要領」の「国語」の「第3 指導計画の作成と内容の取扱い」の3の(2)と(3)である。空欄①～⑤に当てはまる語句として正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は 4

(2) 教材は、次のような観点に配慮して取り上げること。

ア 国語に対する認識を深め、国語を尊重する態度を育てるのに役立つこと。

イ ( ① )、思考力や想像力を養い言語感覚を豊かにするのに役立つこと。

ウ 公正かつ適切に判断する能力や創造的精神を養うのに役立つこと。

エ ( ② )、論理的に物事を捉え考察し、視野を広げるのに役立つこと。

オ 人生について考えを深め、( ③ )を養い、たくましく生きる意志を育てるのに役立つこと。

カ 人間、社会、自然などについての考えを深めるのに役立つこと。

キ ( ④ ) に対する関心や理解を深め、それらを尊重する態度を育てるのに役立つこと。

ク 広い視野から国際理解を深め、日本人としての自覚をもち、国際協調の精神を養うのに役立つこと。

(3) 第2の各学年の内容の「思考力、判断力、表現力等」の「C読むこと」の教材については、各学年で説明的な文章や文学的な文章などの文章の種類を( ⑤ )に取り扱うこと。また、説明的な文章については、適宜、図表や写真などを含むものを取り上げること。

- |   |         |       |          |             |       |
|---|---------|-------|----------|-------------|-------|
| 1 | ① 認め合う力 | ② 文学的 | ③ 確かな人間性 | ④ 我が国の歴史と民話 | ⑤ 系統的 |
| 2 | ① 伝え合う力 | ② 科学的 | ③ 豊かな人間性 | ④ 我が国の伝統と文化 | ⑤ 調和的 |
| 3 | ① 伝え合う力 | ② 文学的 | ③ 確かな人間性 | ④ 我が国の伝統と文化 | ⑤ 調和的 |
| 4 | ① 認め合う力 | ② 科学的 | ③ 豊かな人間性 | ④ 我が国の歴史と民話 | ⑤ 系統的 |
| 5 | ① 伝え合う力 | ② 科学的 | ③ 確かな人間性 | ④ 我が国の伝統と文化 | ⑤ 調和的 |

- (5) 次のうち、「中学校学習指導要領」（平成29年3月告示）の「国語」の「第3 指導計画の作成と内容の取扱い」に示されている「書写」の取り扱いに関する内容として正しいものを○、誤っているものを×とした場合、正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は
- A 文字を正しく整えて速く書くことができるようにするとともに、書写の能力を学習や生活に役立てる態度を育てるよう配慮すること。
- B 硬筆を使用する書写の指導は各学年で行うこと。
- C 毛筆を使用する書写の指導は第1学年及び第2学年で行い、硬筆による書写の能力の基礎を養うよう指導すること。
- D 書写の指導に相当する授業時数は、第1学年及び第2学年では年間20単位時間程度、第3学年では年間10単位時間程度とすること。

5	4	3	2	1
A	A	A	A	A
○	×	○	×	○
B	B	B	B	B
○	○	×	×	○
C	C	C	C	C
×	○	×	○	×
D	D	D	D	D
×	×	○	×	○

2

次の文章を読んで、あとの(1)～(6)の問いに答えよ。

著作権保護の観点により、本文を掲載いたしません。

著作権保護の観点により、本文を掲載いたしません。

出典…幻冬舎新書513

『考えるとはどういうことか 0歳から100歳までの哲学入門』

梶谷真司 株式会社 幻冬舎

120ページ14行目から124ページ16行目まで

(梶谷真司『考えるとはどういうことか』より)

(1) 〓部A、Cのカタカナを漢字に直すとき、同じ漢字を含むものはどれか。1～5からそれぞれ一つ選べ。解答番号は、Aは 、Bは 、Cは

A イツキイチユウ

- |   |               |   |             |
|---|---------------|---|-------------|
| 1 | 幼稚園のおウウギ会。    | 2 | ユウジユウ不断な性格。 |
| 3 | 能のユウゲンの美を味わう。 | 4 | 卓球部にカンユウする。 |
| 5 | 村の将来をユウリヨする。  |   |             |

B コウカイ

- |   |              |   |                |
|---|--------------|---|----------------|
| 1 | カイリツを守る。     | 2 | 短歌やハイカイを論じる。   |
| 3 | 非常にツウカイな出来事。 | 4 | 友人に心境をジュツカイする。 |
| 5 | カイコンの情が湧く。   |   |                |

C ジュンスイ

- |   |                |   |               |
|---|----------------|---|---------------|
| 1 | 作文のスイコウをする。    | 2 | キツスイの江戸っ子気質。  |
| 3 | 栄枯セイスイの理。      | 4 | 体育でケンスイを五回する。 |
| 5 | 有名な音楽家にシンスイする。 |   |               |

(2) 〓部①とあるが、その理由として最も適切なものはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は

- 1 哲学の問題は、実生活には関係のない問いが複雑にからみあって論じられるから。
- 2 世の中で、哲学の問いを自分の問いにできる人は、非常にまれな存在であるから。
- 3 哲学の問題は、問題が細分化され、それぞれが専門的に論じられ、実生活とはかけ離れたものであるから。
- 4 あれこれ考えるうちに、哲学好きになる人は、全て大学で哲学の研究を志すことになるから。
- 5 物事を突き詰めていくと、哲学の問いにぶつかり、普段から深く考えたり悩んだりするようになるから。

(3) 空欄②・③に当てはまる語句として正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は

- |   |        |        |   |       |        |
|---|--------|--------|---|-------|--------|
| 1 | ② 複合的  | ③ 単一的  | 2 | ② 日常的 | ③ 非日常的 |
| 3 | ② 現実的  | ③ 非現実的 | 4 | ② 抽象的 | ③ 具体的  |
| 5 | ② 非科学的 | ③ 科学的  |   |       |        |

(4) — 部④とあるが、どのような点で哲学的であるというのか。その説明として最も適切なものはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は 11

1 哲学には、誰がどんなことを言ったのかという事典的・哲学的な事柄や、どこにどんなことが書いてあるかというような文献学的事柄が含まれている点。

2 日常生活の問いには哲学的でない問題も含まれているが、問い方を変えることで哲学的な問いに発展させていくこともできる点。

3 哲学の問題を考えることが哲学的というのではなく、どんな問いでも内容的に哲学であれば、哲学的な問いであるといえる点。

4 本来の哲学研究の目的としての問いではなくても、哲学の問題に生かせるのであれば、それは全て哲学的であるといえる点。

5 主体性をもって哲学の問いに取り組まなければ、思想上の様々な問題を明らかにすることはできない点。

(5) — 部⑤とあるが、その理由として最も適切なものはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は 12

1 授業を受けることと学ぶことはどのように関係しているのか？ などの問題を突き詰めていくと、「哲学的な問題」は「哲学の問題」に変化していくから。

2 なぜ私たちは食べるのか？ など実生活からの問いであっても、自分自身の問いをもち、考えたことから得られた洞察は重要なものとなりうるから。

3 今日は何を食べるのか？ といった生活上の問題を考えることは、哲学的な問題よりも私たちにとって大切な問題だから。

4 哲学の問題とは、思想上のさまざまな問題を明らかにすることであり、その人の人生において大きな意味を持つことになるから。

5 哲学の問題は、実生活の様々な問いから、個別のテーマに分かれていくことで、問題点を明らかにすることが容易であるから。

(6) この文章の構成・展開に関する説明として最も適切なものはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は 

13
----

- 1 はじめに哲学の問いの本質について結論を述べ、実生活の問いよりも哲学の問いの方がより具体的で複合的であり、かつ専門的に高度であるという見解を示している。
- 2 はじめに哲学の問いと日常的な問いとの違いを説明し、相違を自らの経験をもとに検討したうえで、現実の生活に生かすことが哲学研究の目的ではないと結論づけている。
- 3 はじめに哲学的な問題の例として日常の問題をとりあげ、事典的・哲学史的な事柄や文献学的なことを学ばなければ、哲学的な問いを考へても意味がないと結論づけている。
- 4 はじめに哲学の問いに対する筆者の主張を提示し、その理由を具体的に説明したうえで、哲学の問題を考えるよりも現実生活の中で出会うさまざまな問いを持つことのほうが重要であるとの見解を示している。
- 5 はじめに一般的な考えから哲学の問いは生まれえないという筆者の主張を提示したうえで、それは哲学特有の問題ではないことを証明し、哲学は個人の現実生活には大きく影響しない無駄なものだと結論づけている。

3

次の文章を読んで、あとの(1)～(6)の問いに答えよ。なお、設問の都合で返り点・送り仮名を省いたところがある。

著作権保護の観点により、本文を掲載いたしません。

出典：新釈漢文大系第66巻『国語（上）』株式会社明治書院  
277ページ17行目から278ページ11行目まで

（『国語』より）

〔注〕

- 楚公子圍　― 恭王の庶子、靈王名は熊虔。  
蔡公孫歸生　― 祭の大夫、字は子家。  
鄭罕虎　― 鄭の大夫、字は子皮。  
叔孫穆子　― 魯の卿、名は豹、穆子はおくり名。  
令尹　― 楚の首相。  
虎賁　― 王の護衛の勇士。  
旅賁　― ほことたてを持ち、車の両側を走り、非常に備えた。  
貳車　― 副車。従者に貸し賜わる車。  
郟敖　― 康王の子、名は麋。

(1) — 部①・④・⑦について、本文中における読みを送り仮名も含めて現代仮名遣いで表したときの組合せとして最も適切なものはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は 14

- 1 ① と ④ ごとく ⑦ もし
- 2 ① より ④ わかくして ⑦ なんじ
- 3 ① より ④ なんじ ⑦ ごとく
- 4 ① と ④ もし ⑦ もし
- 5 ① か ④ わかくして ⑦ ごとし

(2) — 部②に返り点を施したとき、最も適切なものはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は 15

- 1 有<sub>レ</sub>執<sub>レ</sub>戈<sub>レ</sub>之前、不<sub>レ</sub>亦<sub>レ</sub>可<sub>レ</sub>乎。
- 2 有<sub>二</sub>執<sub>レ</sub>戈<sub>レ</sub>之前、不<sub>レ</sub>亦<sub>レ</sub>可<sub>レ</sub>乎。
- 3 有<sub>二</sub>執<sub>レ</sub>戈<sub>レ</sub>之前、不<sub>二</sub>亦<sub>レ</sub>可<sub>レ</sub>乎。
- 4 有<sub>三</sub>執<sub>レ</sub>戈<sub>レ</sub>之前、不<sub>二</sub>亦<sub>レ</sub>可<sub>レ</sub>乎。
- 5 有<sub>二</sub>執<sub>レ</sub>戈<sub>レ</sub>之前、不<sub>レ</sub>亦<sub>レ</sub>可<sub>レ</sub>乎。

(3) — 部③とあるが、「然」の示す内容として最も適切なものはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は 16

- 1 楚の令尹である公子圍を戈持ちが先導するのは当然だということ。
- 2 楚の公子圍は大変美しいので、大夫のようではないということ。
- 3 公孫歸生に護衛がついているのは、蔡では当然だということ。
- 4 大国の令尹である公子圍に戈持ちがいたので、戸惑ったということ。
- 5 楚は大国なので、戈持ちを令尹が先導するのは当然だということ。

(4) — 部⑤について、あとのア、イの問いに答えよ。

ア 本文中における書き下し文として最も適切なものはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は

- 1 しょういらずんばせん。
- 2 しょうといらざるがごとし。
- 3 まさにいらざるがごとし。
- 4 まさにいらざらんとす。
- 5 まさにいらすや。

イ 主語として最も適切なものはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 公子圍
- 2 穆子
- 3 天子
- 4 諸侯
- 5 服

(5) — 部⑥の解釈として最も適切なものはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 占いの亀の甲羅を中から焼くと、外に模様が生じるように、服飾にも自らの本心が思いもよらずあらわれ出るということ。
- 2 占いの亀の甲羅を中から焼くと、ひび割れた所から生じる模様と、服飾の模様はよく似ているということ。
- 3 占いの亀の甲羅を中から焼くと、文章が必ず外側にあらわれるように、服飾にも心のあやがあらわれるということ。
- 4 占いの亀の甲羅を焼くとあらわれるひびが文章のように見えるのと同じように、服飾の模様も文章のように見えることがあるということ。
- 5 占いの亀の甲羅を焼くと生じる文章は縁起がよいとされ、服飾にもその文章をあしらうことで心を落ち着けることができるということ。

(6) この文章で述べられている内容として最も適切なものはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は

- 1 公子圍の人のよさが服飾にあらわれているということ。
- 2 公子圍の運命が亀の占いにあらわれているということ。
- 3 公子圍の賢明さが文章にあらわれているということ。
- 4 公子圍の統率力が亀の占いにあらわれているということ。
- 5 公子圍の野心が服飾にあらわれているということ。

次の文章は『栄花物語』巻第二十六「楚王のゆめ」の一部である。これより前の部分では、藤原道長（殿の御前）の娘である東宮妃尚侍嬉子（督の殿）が、親仁親王を出産して数日後に亡くなり、茶毘に付されることとなったことが記されており、本文はその続きの部分である。これを読んで、あとの(1)～(7)の問いに答えよ。

著作権保護の観点により、本文を掲載いたしません。

出典…新編日本古典文学全集32『栄花物語②（全三冊）』小学館  
525ページ9行目から528ページ2行目まで

（『栄花物語』より）

〔注〕 小左衛門…女房名。

女房車…女房車に乗った人々。

上の御前…倫子。嬉子の母。

東宮…敦良親王。

(1) 部A、Cの語を適当な形に活用させよ。

(2) 部①、②の助動詞について、基本形、活用形、本文中での文法的意味をそれぞれ答えよ。

(3) 部B、Dの敬語について、あとのI、IIの問いに答えよ。

I 本文中における敬語の種類として最も適切なものはどれか。次のア～ウからそれぞれ一つ選べ。

ア 尊敬語    イ 謙讓語    ウ 丁寧語

II 敬意の主体（誰からの敬意か）と、敬意の対象（誰に対する敬意か）として最も適切なものはどれか。次のア～オからそれぞれ一つ選べ。なお、同じ記号を何度も選んでもよいものとする。

ア 殿の御前    イ 督の殿    ウ 小左衛門    エ 上の御前    オ 語り手

(4) 部③の解釈として最も適切なものはどれか。次のア～エから一つ選べ。

ア 小左衛門が督の殿を誰よりも慕っていたのならば、来世でも督の殿のもとに小左衛門は参上するだろう。

イ 小左衛門は督の殿を誰よりも賢い方だと思っていたのだから、あの世へは小左衛門と督の殿と一緒に参上するにちがいない。

ウ 督の殿は小左衛門を誰よりも寵愛していらっしやっただから、あの世でも小左衛門は督の殿のもとに参上するだろう。

エ 督の殿が小左衛門を誰よりもかわいがっていらっしやっただから、来世では督の殿と小左衛門と一緒に参上するにちがいない。

(5) 部④とあるが、ここからうかがえる心情は、誰の何に対するどのような心情か。三十字程度で説明せよ。

(6) 部⑤の和歌は、後に示した『文選』所収、宋玉著『高唐賦』序をふまえて詠まれたものであるが、このときの東宮の心情を説明したものととして最も適切なものはどれか。次のア～エから一つ選べ。

ア 巫山の女が朝には雲となって王と再び巡りあったように、雲となった督の殿と再び会えたことに驚きあきれている気持ち。

イ 夢の中で会った巫山の女が朝には雲となっていたように、あっけなく雲となくなってしまった督の殿のことを思い、つらく悲しい気持ち。

ウ 巫山の女が朝になって再び雲として姿を現したように、亡くなった督の殿が雲となって自分の目の前に現れることを願う気持ち。

エ 夢の中でしか会えない巫山の女との逢瀬のように、督の殿の死から人の命のはかなさに思いをはせ、情けなく思う気持ち。

著作権保護の観点により、本文を掲載いたしません。

出典…新釈漢文大系第81巻『文選（賦篇）下』株式会社明治書院  
343ページ

- (7) 『栄花物語』では、宇多天皇から堀河天皇までの約二百年間を編年体で記しているが、文徳天皇から後一条天皇までの約百八十年間の藤原氏全盛の世の歴史を紀伝体で記した作品を何というか。漢字で答えよ。

5

次の文章を読んで、あとの(1)～(6)の問いに答えよ。

著作権保護の観点により、本文を掲載いたしません。

著作権保護の観点により、本文を掲載いたしません。

出典：平凡社ライブラリー456

『串田孫一エッセイ選 Eの糸切れたり』株式会社平凡社  
109ページ13行目から113ページ7行目まで

(串田孫一『Eの糸切れたり』より)

(1) 〓部AとCの漢字は読み方を答え、カタカナは漢字になおせ。

(2) 〓部①とあるが、読者はなぜ「ほほえましさ」を感じ取るのか。本文中の語を用いて五十字程度で説明せよ。

(3) — 部②、④の本文中における意味として最も適切なものはどれか。次の各群のア～オからそれぞれ一つ選べ。

②「取り越し苦労」

- ア 無用な心配はしないこと
- イ わざとらしく心配すること
- ウ 同じことを心配し続けること
- エ いつまでも心配し続けること
- オ 先の分からないことをあれこれ心配すること

④「顕示する」

- ア 的確に指示する
- イ 詳細に指示する
- ウ はっきり示す
- エ 注意深く示す
- オ 大まかに示す

(4) — 部③とあるが、筆者はどのような点で「異質」であると考えているのか。最も適切なものはどれか。次のア～エから一つ選べ。

- ア 旅に出ると、環境や生活様式が変わると同時に、風景等も変わるので、気をつけなければならない点。
- イ 旅に出ると、平素の生活からの解放感から、自分を律することが気にならなくなってしまいう点。
- ウ 旅に出て環境が変わることで、眼前の物や人に対してのみに注意が集中するようになってしまいう点。
- エ 旅に出て環境が変わることで、自分の内面の変化と移り変わる風景の変化を敏感に感じ取る点。

(5) — 部⑤とあるが、筆者はどのようなところが「不自然」だと感じたのか。その説明として最も適切なものはどれか。次のア～エから一つ選べ。

- ア 文章の風景描写に工夫を加えることによって、以前に見たことがある風景と似たような風景を思い起こすことができる点。
- イ 文章に風景の描写を補うための加筆が一切行われず、見たままの風景がそのまま描写されているので、描写の焦点が定まらないところ。
- ウ 文章を何度も読み返すことで、風景の描写を組み立てられるように工夫された苦心の跡が読み取れるところ。
- エ 文章に風景の描写を補うための加筆が行われていないので、自由に想像力を働かせることができる点。

(6) — 部⑥が設立した根岸短歌会に属し、子規の没後に会を引き継いだ歌人は誰か。次のア～オから一つ選べ。

- ア 与謝野鉄幹
- イ 石川啄木
- ウ 伊藤佐千夫
- エ 北原白秋
- オ 島木赤彦



# 令和3年度大阪府公立学校教員採用選考テスト

## 三次選考択一問題の正答について

校種	中学校	教科・科目	国語
----	-----	-------	----

解答番号	正答番号	解答番号	正答番号
<b>1</b>	3	<b>11</b>	2
<b>2</b>	4	<b>12</b>	2
<b>3</b>	3	<b>13</b>	4
<b>4</b>	2	<b>14</b>	4
<b>5</b>	1	<b>15</b>	3
<b>6</b>	5	<b>16</b>	1
<b>7</b>	5	<b>17</b>	4
<b>8</b>	2	<b>18</b>	1
<b>9</b>	3	<b>19</b>	3
<b>10</b>	4	<b>20</b>	5

中学校 国語 解答用紙

(2枚のうち1)

(解答はすべて、解答题用紙に楷書で記入すること)

受験番号	
------	--

4

得点

(7)	(6)	(5)		(4)	(3)		(2)		(1)	
大鏡	イ	し	く	上	ウ	II B 主体	I B	② 基本形	① 基本形	A
		み	し	の		オ	イ	ず	き	見 ゆる
		。	た	御		対象	D			
			こ	前		/	/			
	/	/	と	の	/	イ	ア	活用形	活用形	/
	/	/	に	、	/	/	/	活用形	活用形	C
	/	/	対	娘	/	/	/	連 体 形	連 体 形	う せ
	/	/	す	で	D 主体	オ	/	連 体 形	連 体 形	/
	/	/	る	あ	オ	対象	工	文法的意味	文法的意味	/
	/	/	深	る	/	/	/	打 消	過 去	/
/	/	い	督	/	/	/	/	/	/	
/	/	嘆	の	/	/	/	/	/	/	
/	/	き	殿	/	/	/	/	/	/	
/	/	や	を	/	/	/	/	/	/	
/	/	悲	亡	/	/	/	/	/	/	

--	--	--	--	--	--	--

中学校 国語 解答用紙

(2枚のうち2)

(解答はすべて、解答用紙に楷書で記入すること)

受験番号	
------	--

5

得点

(6)	(5)	(4)	(3)	(2)				(1)
ウ	イ	エ	② オ	か	に	た	筆	A
				ら	し	り	者	そ
				。	よ	、	が	れて
					う	程	感	て
/	/	/	/		と	々	情	/
			③ ウ		し	に	の	B
					た	抑	起	垂
					こ	え	伏	れて
					と	た	を	て
/	/	/	/		が	り	全	/
				/	感	し	面	C
					じ	て	的	一
					取	、	に	概
					れ	文	隠	に
					る	章	し	/

--	--	--	--	--	--